

## 学習の到達目標

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実習	3	3	セラミック	必修	セラミック実習 (公社) 日本セラミックス協会
セラミックの各分野に関する技術や技能を実験や作業を通して体系的に習得させ、新技術に主体的に対応できる意欲と能力を育てる。						

## 1. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	セラミックに関する基礎的な知識を理解しながら、課題の解決と適切に判断し得る能力を身につけている。セラミックに関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画する	基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	セラミックに関する基礎的な技術について関心を持ち、その改善・向上を目指して協働的に取り組もうとしている。
評価の方法	実習態度・取り組み状況、課題作品・レポートなどの提出物の状況・提出期限などを総合的に判断して評価する。		

## 2. 教科からのメッセージ

<p>(1) 工芸系分野に関する作業実習  <b>【石膏型成形（制作物は食器や箸置き等）】</b>  石膏型を使用して排泥鑄込み成形を用い作成します。  石膏の基本的な使用方法とカービングによる成型方法を学びます。  必ず作業服を着用して、安全に作業を進められるように努めてください。</p> <p>(2) 化学系分野に関する実験実習  <b>【釉薬の調合】</b>  陶磁器に必要な不可欠な釉薬調合・焼成に関する基本的事項を理解しましょう。  <b>【化合物試験】</b>  化合物の種類と性質を知り、調合して焼成後の色変化を観察し、化合物の役割を学びます。</p>
--

## 3. 年間指導計画表

月	学習項目	主な学習内容
	(1) 工芸系分野に関する実験実習	<b>【石膏型成形（制作物は食器や箸置き等）】</b> 〈制作工程〉 ①デザインを考え三面図を描く。 ②デザイン案と三面図をもとに画用紙を使い実物大のマケットを作成。 ③マケットをもとに立方体の石膏を削りだして原型を制作する。 ④割型を作り、排泥鑄込みで作品を作成。 ⑤素焼きした作品に加飾を施し、本焼成して作品を完成させる。
	(2) 化学系分野に関する作業実習	<b>【釉薬の調合】</b> 陶磁器に必要な不可欠な釉薬調合・焼成に関する基本的事項を理解する。 <b>【化合物試験】</b> 化合物の種類と性質を知り、調合して焼成後の色変化を観察し、化合物の役割を理解する。

